

## Kingfisher News

12月に入り、気温が一気に低くなりました。シベリアの寒気団も偏西風の蛇行が原因で頻りに南下するようになり、日本海側の各地に大雪を降らせています。北陸地方や東北地方などでは、日本海上で寒気がぶつかり合い雪雲が出来やすくなっているために、例年の数倍の積雪量になっているのだとか。人々の生活への影響だけでなく、物流を担う交通網への影響も心配です。

## トピック

## 新しいパネルを作りました（3）

今回は、「街中に樹木を植えよう！！（2）」です。

パネルとしては「街中に樹木を植えよう！！（1）」も作りましたが、Kingfisher Newsの初回に紹介しましたので、省略します。

法人が製作した「大気中CO<sub>2</sub>除去装置」は、太陽の光を利用して光合成を行う微細藻類（ユーグレナ）を飼育し、そこに大気を吹き込んでCO<sub>2</sub>を除去する装置です。グラフでもわかるように、処理された大気中のCO<sub>2</sub>濃度が、太陽が出る時刻から下がり始め、午後2時、3時には約100ppmの値となりました。（1ppmは1万分の1の値です。つまり、1万ppmが1%です。）太陽の出ている時刻のCO<sub>2</sub>濃度が約500ppmですから、約5分の1になったと言えるでしょう。

この装置を1年間稼働させた場合、約2台で針葉樹の中でも最もCO<sub>2</sub>吸収能力が高いとされるスギの40年生のスギ1本の吸収能力に匹敵することが計算から分かりました。

世間では、脱炭素・再生可能エネルギーとCO<sub>2</sub>排出削減の事ばかり叫ばれていますが、大気そのものからの除去も考えてほしいものです。

街中に樹木を植えよう！！（2）

「大気中CO<sub>2</sub>除去装置」の能力

法人で製作した「大気中CO<sub>2</sub>除去装置」に大気を吹き込んで、出てきた気体中の二酸化炭素濃度を測定すると、夜中に500ppm近い濃度だったが、日中は光合成により二酸化炭素が消費され、午後2時、3時には100ppm近くまで低下しました。



この装置に毎分30Lの大気を吹き込んで1年間稼働すると、この装置約2台で40年生のスギ(針葉樹)1本分の二酸化炭素吸収能力があることが分かりました。



特定非営利活動法人 Environment NGO Kingfisher

## 活動予定

第17回地球温暖化防止パネル展:

2023年4月7日から20日フジグラン緑井5階 ギャラリー「Passage」

## 活動報告

第16回地球温暖化防止パネル展:

2022年9月1日から13日イオンモール広島府中3階 ベビーガーデン

詳しくは、ホームページをご覧ください。

特定非営利活動法人 Environment NGO Kingfisher

TEL: (082) 548-8822 FAX: (082) 548-8833  
e-mail: [information@ngo-kingfisher.or.jp](mailto:information@ngo-kingfisher.or.jp)  
<https://ngo-kingfisher.or.jp>